

内服・注射ステロイド後の全身浸出症状と浮腫を経て疼痛が軽減した成人アトピーの経過 (22 歳 女性)

症例 ID：001-20-TMy | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

外用ステロイドに加え、約 2 年半にわたり内服ステロイドを使用し、短期間の注射治療も受けました。一度中止しましたが、強い症状に耐えられず再開しました。薬が効きにくくなったため、松本医院で治療を開始されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	外用・内服ステロイドを使用し、短期間のステロイド注射も受けました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	内服は約 2 年半です。外用期間と注射回数は不明です。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
治療開始	治療変更	ステロイドを中止し、煎じ薬と漢方入浴を開始しました。
約 1 週間後	初期変化	皮膚が硬くなり、赤黒い色調となりました。
約 3 週間後	浮腫	下肢が強く腫れ、立位と歩行で痛みが出ました。
治療初期～4 か月	ピーク期	全身から浸出液が出て、かゆみ、疼痛、不眠、寒気が続きました。
約 3 か月後	浮腫軽減	下肢の浮腫がほぼ消失しました。
約 4 か月後	浸出液軽減	耳を含む全身の浸出液が出なくなりました。
約 6 か月後	経過中	起き上がりや入浴時の痛みがなくなり、強いかゆみは通常のかゆみ程度に軽減しました。

4. ピーク時期

ピークは治療開始後数週間から数か月、顔・耳・体幹・四肢・臍から浸出液が出て、全身の皮膚が硬く、寝返りや歩行にも痛みがあった時期です。

5. 困りごと

- ・かゆみと疼痛により夜間に眠れず、うつ伏せ以外で休めない状態でした。
- ・下肢浮腫により立位・歩行が困難でした。
- ・入浴剤を皮膚へ塗る際に強い痛みがありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総 IgE
初診時	174
ステロイド中止後数か月	6180

7. 経過のまとめ

治療 4 か月頃には浸出液が出なくなり、6 か月後には起き上がり、歩行、入浴時の痛みがみられなくなりました。かゆみは残りましたが、ピーク時より大きく軽減していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。